

夢のつばさプロジェクト 2012 夏キャンプ 学生報告

【日程】2012年7月31日～8月3日

【場所】軽井沢第一山荘（ブリヂストン保養所）／見学地等：佐久市子ども未来館

- 【キャンプ目標】
- ①子ども達と深い信頼関係を築こう
 - ②子ども達に主体的に動いてもらおう
 - ③子ども達に楽しく学んでもらおう

【活動概要】

7月31日

学生スタッフ5名と大人スタッフ2名（看護師を含む）による送迎班と子ども達が9:00に仙台駅に集合しました。以前から欠かさず参加してくれる子ども達とは久しぶりの再会を喜び合いました。新規に参加した子ども達とも軽井沢に着く頃にはすっかり仲良くなることができました。



残りの学生スタッフと12:00に軽井沢駅で合流し、みんなで第一山荘へ。開会式（右写真）の後にアイスブレイクを行ない参加者同士の交流を図りました。この日のテーマは「信頼関係を築く」で、この後も参加者同士がお互いを知り合える企画を中心に、軽井沢銀座を散歩したりソフトクリームを食べたり、宿舎の庭でシャボン玉を使って皆で遊んだり、夕食後には花火をしたりしました。

子ども達が就寝した後はスタッフ会議を開催。初日の反省と子ども達の様子を共有しました。

8月1日

7:00に起床して中庭でラジオ体操をしました。朝食のあとは恒例の勉強会。みんな持参した夏休みの宿題を集中してこなし、分からない所は学生に聞くなど積極的な姿勢もみられました。

次にバスで佐久市子ども未来館へ向かいました。「月の重力を感じてみよう」「人間の体の仕組みを知ろう」といった様々な体験型の科学的な展示品を見たり、スーパーボールを作る実験教室（右写真）やプラネタリウム上映なども鑑賞しました。子ども達はとても楽しそうで、今回キャンプテーマの1つである「楽しみながら学ぶ」を実践することができたと思います。



帰荘後、お風呂と夕食を済ませた後には寸劇発表会を行ないました。子どもと学生はチームに分かれて、有名な昔話のパロディを創り上げ発表しました（左写真）。この企画のテーマは「子ども達の主体性」。一生懸命に役を演じる子もいれば、監督として仕切る子、脚本を書く子などいて、様々な形で主体性と個性が発揮されたとても楽しい夜となりました。

この日の夜も子ども達の就寝後にスタッフ会議を行い、翌日に備えました。

8月2日

6:30 に起床。ラジオ体操、勉強会。朝食後は自由研究を行ないました。こちらのテーマは「主体的に楽しく学んでもらおう」で、本キャンプ目標 2 つを複合した企画となりました。夢のつばさプロジェクトスタッフであるお茶大の先生方と相談して、学生が用意した 3 つのコンテンツ（音の研究・紫キャベツを使った酸とアルカリの研究・花の色素の研究）と、独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構のボランティア 2 名による太陽光発電とソーラーカー作りの中から、1 つを選んで取り組んでもらいました。担当学生は一生懸命勉強し、ワークシートを用意して指導役を務めました。ソーラーカー班と音の研究班は、原理を



勉強した後にソーラーカーやストローの笛を作製し（右写真）、紫キャベツ・花の色素班はそれぞれ実験を行って（左写真）、それぞれ自分なりの自由研究をまとめ上げました。（株）ブリチストンのボランティア 2 名もお手伝い下さり、より安全で深い研究ができました。



自由研究の後には中庭でプチ運動会をしました。しっぽ取りや借り“人”競争などを行い、おおいに盛り上がりました。

夕食後にはアボリジニの楽器の演奏会が開催されました。最初に音楽家お二人の演奏を聴いた後、用意してくださった様々な打楽器を 1 人 1 個ずつ持って、参加者全員での大演奏会となりました（下写真）。リズムだけの合奏ですが全員の呼吸がピタリと合い、皆で 1 つの音楽を作り上げることができ、子ども達もちろん学生達もとても感動しました。演奏会後はビンゴ大会をし、キャンプ最後の夜を盛り上げて締めくくりました。



子ども達が就寝した後はスタッフ会議を開催し、最終チェックをしました。また子ども達へ送るメッセージカードや、保護者の方へお渡しするキャンプ中の様子をまとめた報告書を作成しました。

8月3日

6:30 に起床してラジオ体操をし、朝食と荷造りの後に閉会式を行ないました。キャンプを振り返ると共に、四日間を通して築けた関係が今後も続いていくというメッセージを込めて話をしました。キャンプ中の写真を集めたスライドショーを上映したり、子ども達 1 人 1 人に学生からのメッセージカードを渡したり、子ども同士で寄せ書きをしてもらったりしました。また、子ども達に”次に会う時までには何か 1 つ苦手を克服して成長してもらいたい”という思いから「約束カード」を作成し、そこに次回キャンプまでの目標を書いてもらいました。「悪い言葉を使わないようにする」「泣く回数を減らす」「苦手な野菜を食べられるようにする」といった様々な目標に学生はエールを送ると共に、また会おうねと子ども達と約束しました。

こうして名残惜しくも全企画が終了し、学生スタッフ 5 名・大人スタッフ 3 名の送り班と共に子ども達は東北へ帰っていきました。新幹線が遅延するハプニングもありましたが、無事に全員を送りとどけ、様々な方への感謝を胸に、夢のつばさプロジェクト 2012 夏キャンプは終了しました。

夢のつばさプロジェクト 2012 夏キャンプを終えてひとこと

夢のつばさプロジェクトが始まって1年。本当にあっという間でしたが、多くの方々と出会い、様々な経験ができた濃密な1年だったと思います。学生メンバーも随分と成長しました。近頃はキャンプ運営に慣れてきたこともあり、キャンプ以外にも子ども達の為に何かできないかと皆で模索しております。今後も子ども達のために、全力で活動していきたいと思います。どうぞご支援をよろしくお願い致します。

夢のつばさプロジェクト

運営組織：

NPO 法人 お茶の水学術事業会（理事長 平野 由紀子）

NPO 法人 全国てらこやネットワーク（理事長 大西 克幸）

NPO 法人 遺伝カウンセリング・ジャパン（理事長 金澤 一郎）

NPO 法人 ウェアラブル環境情報ネット推進機構（理事長 板生 清）

学生ボランティアチーム：お茶の水女子大学（連絡・調整）、東京大学、明治学院大学、早稲田大学、

慶應義塾大学、國學院大學、東京学芸大学、一橋大学、明治大学、埼玉大学、津田塾大学他

連絡先：〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 お茶の水女子大学室伏研究室

電話・ファクス：03-5978-5362

HP に様々な活動報告をしております。ぜひご覧ください：

<http://www.npo-ochanomizu.org/tsubasa/index.html>